

CASBEE 広島 2016年版 (仮称)イズミアリーナ新築工事		■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)						
スコアシート 実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境					0.40		-	2.8
1 音環境				2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能					-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音				1.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.6	0.35		-	2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 外皮性能				3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				2.6	0.25		-	2.6
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-	
1 昼光率				1.0	0.60		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策					-		-	
1 昼光制御					-		-	
3.3 照度				3.0	0.20		-	
3.4 照明制御				3.0	0.50		-	
4 空気質環境				3.7	0.25		-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		内装仕上げ、下地材、天井内のの材料はF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33		-	
2 自然換気性能				3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		喫煙室の設置無し、敷地内を禁煙としている		5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.2
1 機能性				3.1	0.40		-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性					-		-	
2 高度情報通信設備対応					-		-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観					-		-	
2 リフレッシュスペース					-		-	
3 内装計画				3.0	1.00		-	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を採用		4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30		-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.2	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		防振吊金具を採用		4.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		サンドイッチパネル 40年		5.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		アリーナ: 体育館用フローリング(床)20年、有孔シナ合板(壁)20年、合成樹脂調合ペイント塗り(天井)20年		5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水 VLP(B) 排水 VP(B) 通気 VP(A) Eは不使用		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			-	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			4.0	1.00	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			1.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.3	0.20	-	-	4.3
BPI _m =0.87							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			2.7	0.50	-	-	2.7
BEI _m =0.85							
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
自動水栓に加えて、節水型機器の採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	
LGS下地の採用							
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.30	-	-	
化学物質排出把握管理促進法の含有しない建材種別1つ							
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50	-	-	
発泡剤を用いた断熱材等を使用していない							
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
LCCO2排出率=87%							
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
ガス設備を採用せず、オール電化としている							
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70	-	-	
チェックリスト、配慮事項の過半を満たす							
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	